

令和8年度 公開講座（短期課程）

コース No.	1 - 05		
コース名	人の役割を変える DX 時代の現場カイゼン実践セミナー (4) コミュニケーションスキル向上とマニュアル作成		
担当科名	機械システム系メカトロニクス科	講 師	山口俊憲 (産業用ロボット特別教育インストラクター)
実施日時	① 令和8年10月 7日 (水)	18:00~21:00	
	② 令和8年10月14日 (水)	18:00~21:00	
	③ 令和8年10月21日 (水)	18:00~21:00	
	④ 令和8年10月28日 (水)	18:00~21:00	
	⑤ 令和8年11月 4日 (水)	18:00~21:00 (計15時間)	
募集定員	6人 (最大10名程度) (最少実施人数2人)		
募 集 対 象	対象職種：不問 (事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)		
	受講に必要なレベル：不問 (受講生の状況・希望に応じて 基礎から実施)		
目 標	発話や文書でのコミュニケーションが円滑になる。		
講 座 内 容	<p>人口減少する変化・変動社会では、今持つスキルとは異なるスキルを追加し続けることが求められています。このスキルは技術だけではないコミュニケーションなどのノンテクニカルスキルも含まれます。実際、生産改善やデジタル化に向けた良いアイデアを思いついても、それを相手に理解してもらえなければ採用してもらえないのではないでしょうか。そのため、現場改善を円滑に進めるためには、コミュニケーション能力が非常に重要となります。</p> <p>本講座では、担当者が行った実験、講義で取り組んできた結果、様々な文献に基づき、誤りなく伝達を行うための会話における説明・確認の仕方、文書によるマニュアルの作成方法を体験的に習得します。そして、組織における効果的な情報共有の方法について説明します。</p>		
他のコースとの関連性	この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「コミュニケーションスキル」、「作業標準」等に関する講義・実習の受講を一部免除する。		
履修項目	①情報共有とは「状況認識・知識と知恵・意識の共有と共感」 (2時間) ②コミュニケーションの失敗による影響 (1時間) ③コミュニケーションとは伝わったかの確認 (1時間) ④状況認識とは気づきと将来状態の予測 (1時間) ⑤発話による情報伝達演習 (3時間) ⑥文書による情報伝達演習 (2時間) ⑦マニュアル・標準作業書の作成方法と管理 (3時間) ⑧組織における効果的な情報共有 (2時間)		
使用装置ソフト・図書等	特になし		
必要な持ち物	筆記用具		
受 講 費	受講料：6,900円 (15時間コース)		
	自己負担：なし		
留意事項等	6つの講座からなる「人の役割を変える DX 時代の現場カイゼン実践セミナー」 は地域企業を中心に現場改善に取り組む 一人の教員 が全て担当しています。全て受講いただくと生産改善に必要な内容を網羅することができますが、それぞれ独立していますので 講座一つでも受講可能 です。一つだけ受講される方、複数講座を受講される方、様々いらっしゃいます。		